

地域医療に係る医師の確保

(共通・継続)

現 状

西胆振管内においては、基幹病院として4つの総合病院（市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、新日鐵室蘭総合病院、伊達赤十字病院）があり、それぞれの機能特性を生かし地域医療を守ってきたが、昨今の医科大学での医師引揚げや地方病院への配置不足により各地方自治体で苦慮しており、西胆振医療圏内においても影響が大きいところである。

課 題

安定した救急医療の確保

救急医療においては、救急受け入れ病院の負担が増大しており、医師の疲弊が深刻である。産科と小児科の連携医療が必要なハイリスク分娩や、脳外科と整形外科・形成外科などの外傷チームが必要な交通事故などによる高エネルギー外傷といった、診療科医師のセット配備を複数医療機関にすることにより、地域医療サービスの向上や医師の疲弊の緩和が望まれる。

胆振西部地域における呼吸器科・循環器科の充実

胆振西部においては、呼吸器科及び循環器科の医師が不足しており、補充の見込みは全くたっていないため、検診の実施にも多大な影響がある。

登別厚生年金病院の存続

登別厚生年金病院は、登別市唯一の公的病院として、温泉等を活用した医学的リハビリテーションにおいて、北海道の医療界の先駆的役割を果たすとともに、地域住民はもとより年間330万人の観光客が安心して温泉地区に滞在するための重要な役割を担っている。

また、地域包括支援センターなど地域福祉の向上にも大きく貢献しています。そのため、西胆振6市町と白老町の連名で存続についての要請活動を行っている。



登別厚生年金病院

要 望 内 容

西胆振における安定した救急医療の確保のため、診療科医師のセット配備など、地域医療の特性を把握いただき実効性のある各種改善策を要望する。また、胆振西部地域における呼吸器科・循環器科の充実、及び登別厚生年金病院が今後も地域医療を担う公的病院として存続し、その機能が維持できるよう特段の配慮をお願いしたい。